

丹沢山塊天王寺尾根で拾得したヤマネについて

青木雄司

Yuji Aoki: Notes on Japanese Dormouse, *Glirulus japonicus*, Found in Tenouji Ridge of The Tanzawa Mountains

はじめに

ヤマネ *Glirulus japonicus* は日本固有種で、本州・四国・九州に分布し、国の天然記念物に指定されている。神奈川県では、丹沢山塊の清川村（煤ヶ谷、宮ヶ瀬、札掛）・山北町（ゴウラ沢出合、箒沢、玄倉川、菰釣山中腹、世附大又沢）・松田町（寄）、および藤野町（名倉）で生息が確認されているが、個体数は少ないと考えられている（浜口ほか, 1997；山口, 1999；栗林・伊藤, 2001）。本州中部では標高 3000m まで分布するとされるが（中島, 1996）、県内の生息確認では菰釣山中腹の約 860m が最高地点であった（山口, 1999）。

今回、天王寺尾根の標高 1050m 地点でヤマネの死体を拾得したので報告する。

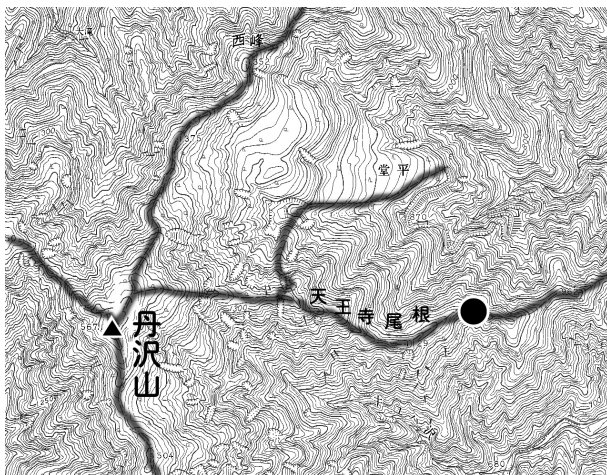


図 1. ヤマネ拾得地点。
●：拾得地点。太線黒線：登山道
「数値地図 25000 東京」（国土地理院）を改図。

拾得した地点

著者は 2004 年 1 月 3 日、塩水橋から丹沢山へと続く天王寺尾根の標高 1050m 地点で登山道に落ちていたヤマネ死体を発見した。拾得地点は、イヌンデ・ミズナラ群落として区分されているが（大野・尾関, 1997）、潜在的にはブナクラス域である。

拾得した個体

拾得したヤマネの死体は損傷が激しく、頭部・腰部・尾



図 2. 拾得したヤマネ。

部などしか体毛は残っておらず、右前足はない。また腹部・胸部に穴が開いている。状態が悪く、死因および性別は不明である。身体が固まった状態で計測したところ頭胴長 83mm 尾長 36mm であった。なお、この個体は、平塚市博物館に保管されている。

謝 辞

死体発見にあたっては、新津 紅氏の協力があった。ここに記してお礼申し上げる。

文 献

- 浜口哲一・平田寛重・山口喜盛・青木雄司, 1997. 丹沢山地の哺乳類・は虫類・両生類. 丹沢大山自然環境総合調査報告書, 丹沢山地動植物目録, pp.1-5. 神奈川県, 横浜.
栗林弘樹・伊藤恵美, 2001. 津久井郡藤野町で保護されたヤマネの記録. 神奈川自然誌資料, (22):29-30.
中島福男. 1996. ヤマネ. 日本動物大百科 1 哺乳類 I, pp.88-91. 平凡社, 東京.
大野啓一・尾関哲史, 1997. 丹沢山地の植生（特にブナクラス域の植生について）. 丹沢大山自然環境総合調査報告書, pp.103-121. 神奈川県, 横浜.
山口喜盛, 1999. コウモリ用巣箱を利用した丹沢山地のニホンヤマネについて. 平塚市博物館研究報告 自然と文化, (22):27-37.

（日本哺乳類学会）

